

ガバナー補佐・会長部会

アドバイザー・ガバナー	鈴木 亀雄 (清水北)
リーダー・ガバナーエレクト	井上 雅雄 (甲府南)
サブリーダー・ガバナーノミニー	道部 秉 (沼津北)
サブリーダー・ガバナーノミニー	牧田 静二 (静岡)

報告者名：井上 雅雄 (ガバナーエレクト)

分科会での協議事項

- ①地区目標・地区予算案承認
- ②地区リーダーシップ・プランについて
- ③クラブ・リーダーシップ・プランについて
- ④会員増強・退会防止について
- ⑤財団寄付について
- ⑥その他

①地区目標・地区予算案承認の件ですが、PETS 終了後4週間たった地区協議会を開きなさいというのが手続要覧に書いてございます。2005 - '06 年度の PETS と地区協の間が4週間しかございませんでしたので、この地区目標と予算案を各クラブに事前にお送りしてあります。今年度の理事会、次年度の会長さんは役員として理事会にご参加のことと存じます。ここでご承認をいただいて2006 - '07 年度の目標、予算案がスタートということですので、よろしくお願いをしたいと存じます。

地区目標は7頁にございます。RI の人頭分担金が今年から一人47ドルになります。以後はこれ以上上がらないということだそうでございます。規定審議会年次負担金というのはいままでどおり一人1ドル、地区資金の負担金もいままでと同じ年18,600円を頂戴するということにしたいと思えます。

地区目標ですが、会員増強60名以上のクラブがプラス3、40から59がプラス2、39以下をプラス1ということにさせていただきます。

ロータリー財団の寄付を第2620地区はこれまでずっとお一人120ドルという数字でした。RIでは、1人毎年100ドルをと呼びかけています。私も3,700人のロータリアンでお一人おひとりがぜひ100ドル以上のご寄付をいただきたい。そういう意味でRIで出しております100ドルという数字にここで合わせていただきます。そして、3番のベネファクター各クラブ1名以上というのも、これはいままでと同じ目標でございます。米山記念奨学会の寄付の1人12,000円も同じです。GSEにつきましては相手地区が第4430地区、ブラジル・サンパウロです。受け入れが2006年の11月、派遣が2007年の5月ということで、これはサンディエゴで第4430地区のガバナーと会いまして合意しておりますし、RIにも届けがしてあります。

地区活性化援助金ですが、これはいまでもお一人2,000円頂戴しております。いまの地区の財政から言って、事業はやらないということに決めたいと思えます。そのかわり活性化援助金の2,000円を使わせていただいて、米山梅吉記念館の補助金に450万円、青少年交換の補助金ですが、継続してクラブに補助したいと思えます。

ITシステム化補助金ですが、いま、すべてのクラブにパソコンが行き渡るようになりました。今

度はパソコン上でメールだけでなく、いろんな情報を流したいということで、そのシステム化についての経費 100 万円近いものをこれから取らせていただきたい。第 1 歩として、きょうも 11 分科会が行われておりますが、それを録音しまして、各分科会のリーダーが報告書としてまとめ、まとめたものを Web にのせる、ということで第 2620 地区の HP に今日の地区協の分科会の記録、参考になるものを載せてみなさまがたに HP まで飛んできていただきたいと思います。

富士山環境美化には歴代ガバナーがお力を注がれました。いま静岡、山梨、神奈川という三県の知事が世界文化遺産の登録のために立ち上がっておりますので、私どもは行政にお手伝いをする、富士山を世界の文化遺産にというムード造りは充分私どもも出来ると思っております。以上が地区目標です。

つぎのページに地区予算がございます。地区予算も 3,700 人で決めさせていただきました。予算は 3,700 人で設定しました。収入が全部で 80,021,000 円でございます。支出はもちろん同額です。地区資金事業会計が 29,150,000 円です。また地区資金一般会計が 34,221,000 円です。

特別事業基金会計の収支はほとんど動いておりません。15,409,580 円はそのまま動かないと思います。

以上が地区の予算でございます。

地区リーダーシッププランについてでございますが、資料をお渡ししてあります。大石隆久ガバナーが地区リーダーシッププランを取り入れられました。その後手続要覧が変わりましたので、それを直させて、諮問委員会でもご承認をいただいて、きょうみなさまにお配りしました。一番肝心なところはガバナー補佐の選考基準です。ガバナー及びガバナーエレクトは現ガバナー補佐の意見を参考にして、つぎの選考基準にしたがい分区内のローテーションやクラブ内の年功序列など情実に捉われることなく、ガバナー補佐にふさわしい適任者を選考しなければならないと決められています。しかしながら、現状第 2620 地区 11 分区のガバナー補佐は輪番制を取っているのがほとんどとなっています。パストガバナーのご意見を伺いますと、分区代理の時代の輪番制は、これはあってもよかったかもしれない。ただガバナー補佐は分区代理と違って権限が増えております。その事で輪番制はいかがなものかと言う声が出ております。これを変えることには難しさがありまして、強引にお止めいただきたいとは言えませんが、こういう状況、輪番制を取っていない所がかなりあるということを考えて、今後ご検討をいただきたいと思っております。

もし分区内でガバナー補佐に事故があった時に、あとをどうするかということ分区内で内規運営規約を決めておいた方がいいのではないかという意見が分区内であったけれど、ガバナーエレクトはどう思うかというご質問をいただきました。これは、ガバナー補佐の任命権はガバナーエレクトにあるわけですから、地区のクラブの会長が選挙して選んだのではないということ認識いただきますと、万が一事故があった時はガバナーと地区の会長さん方とご相談のうえ決めていくのが順当だと思います。因みにガバナーに事故があったことは何回かありまして、その時には先輩ガバナーが残りの任期をガバナーとして過ごされたことがありました。それに倣うということがあるかもしれませんし、会長のみなさんのご意見を聞きながら決めるということになるかと思っております。

ここで大石隆久パストガバナーがお作りになった、文章に、クラブアッセンブリーはガバナー補佐がやって欲しい、ガバナーの仕事を少しでも軽減するために当地区はすべてそういう形で動いておりますので、ご認識をいただくためにもう一度お読みいただきたいということで資料をよせていただきました。

もう一つ、第 2620 地区では、ガバナー補佐がすべて 1 年でお辞めになっているということでございます。これは手続要覧 31 頁のガバナー補佐の任務の中で任期がロータリー年度の 1 期 1 年、ただし 3 期 3 年に限り再任を妨げないと書いてあります。そうかと言って、ここにおいでの方が来年もとはおっしゃらないとは思いますが、そういうことがあってもいいということですから、今後の参考にさせていただきたいと思っております。そこがいままでの分区代理とは違うところであり、地区リーダーシッププランの一番の柱ですので、そのようにお願いしたい。

そして、地区に委員会があります。いまは地区チーム研修セミナーで委員の方々は研修されます。この委員の方はすべてが84ロータリークラブの事業計画、事業の展開に協力するのが最大の仕事だと思います。さきにも申し上げましたが地区では事業をいたしません。クラブがロータリー活動をしていただくだけです。きょう、小林総一郎さんがThink Globally Act Locallyという言葉が言われました。世界的規模で考えて地域で行動をおこそうというのが、ロータリーにいま課せられた任務だと思っております。これは地区チーム研修セミナーの冊子に書かせていただきましたけれど、ぜひその辺をご認識いただいて、地区の委員会の活動をして欲しいと思っております。

地区リーダーシッププランについて手続要覧の30頁に地区リーダーシッププランDLPということが書いてあります。すべての地区は理事会が概要をまとめた地区リーダーシッププランの構成を遵守してリーダーシッププランを確立するよう要請される—これはロータリー章典にあるわけです。そして、義務付けられている地区リーダーシッププランの構成はつぎのようなものである。ガバナー補佐、地区研修リーダー、各種地区委員会といった共通の用語、ガバナー補佐、地区研修リーダー、地区委員会委員の明確な責務、地区内の指導力の継続を確実にする地区委員会、ガバナーが委任することの出来ない任務や責務を明確に記述したもの、これは地区レベル、クラブレベルでロータリーを強化する構成でクラブへの支援をより迅速により綿密にし、より多くの地区指導者を練達に導き、地区ガバナー候補者の裾野を広げ、財団や地区活動への参加を活性化し、100以上のクラブを効果的に運営する能力を身につけ、地区内でより多くの意思の疎通を図る意図を持つものである—と書いてございます。

つぎにクラブリーダーシッププランに入らせていただきます。先日のPETSの折に、クラブリーダーシッププランのブルーのマニュアルを差し上げたと思っております。このクラブリーダーシッププランの最大の効果は、長期目標をまずクラブとして立てて欲しい。そして、その長期目標に沿って毎年毎年代わられた会長さんが、ご自分の1年の目標を立てて、事業計画を進めて欲しい。その中でロータリー財団と会員増強退会防止、それ以外にクラブを運営するための組織、もう一つはロータリーの事業を広報する組織、それからもう一つが一番重要な奉仕プロジェクトです。その奉仕プロジェクトの中で、私のガバナーとしての理念として職業奉仕を上げさせていただきました。私は職業奉仕を基盤としたロータリー活動と言うのは絶対終焉を迎えることはないと考えておりますので、今回もそれを一つの理念といたしました。クラブ協議会というのはすべて84ロータリークラブがおやりになっていると思っておりますが、全員参加のクラブ協議会というのをおやりになっているクラブがいくつありましょうか。ちょっとお手をお挙げ下さい。49クラブということは、そういうクラブの方が多いということになります。この全員参加のクラブ協議会というのは、先日お渡ししたクラブリーダーシッププランの3ページのプランの施行というところがありますが、その3というところに計画過程に会員を関与させ、クラブ協議会を実施し、ロータリーの活動に関する情報を随時伝える、クラブ協議会の開催によってクラブの全会員が最新情報を把握し、クラブ活動に参加していると実感することが出来るようになります。多くのクラブでは会員全員がクラブに関する決定事項を協議するための機会として、また委員会が活動を報告するための機会として協議会を活用しています—と書いてあります。これは非常に大勢の会員がいるクラブでは大変だと思っておりますが、クラブリーダーシッププランを採用していく中で非常に重要なことは、このクラブアッセンブリーだと思っております。そして、ロータリアンが出来るだけロータリーの事業に参加をしていただく、そしてロータリークラブの良さ、ご自分でそれをやることの意義を勉強していただくことが重要ではないかと考えておりますので、もう一度冊子をお読みいただき、会員数の少ないクラブにありましては、奉仕プロジェクトを優先順位をつけてお決めになって結構だと思っております。この年はこれに集中をしていくことが必要ではないかと思っております。その中で広報が活躍していただければ、ロータリークラブに入りたいという人が出てくるはずだと思っております。私たちが業界または専門職の中で真に選ばれた1人であるという自負は絶対に必要だと思っております。3,700人のメンバーがそれを自覚していただくことが今後のロータリー活動につながるものだと思っておりますので、よろしくお願いをしたいと思います。

静岡第2分区の岸本ガバナー補佐から質問があり、井上年度は周知の年で、道部年度は実施の年であると云う説明が、PETSの時にあったが、理解されているようで理解されていないようであるから、もう一度説明してもらいたいと言うものでした。

私と道部ノミニーの間ではいろいろとお話しをしております。今このクラブリーダーシッププランを即84クラブ実施してくださいと言うのはなかなか無謀なことだなという風に私も道部ノミニーも思っております。RIが2,3年後にはおそらく必ずややれと言うようになるだろうというのが、この間のサンディエゴでの話でしたから、そうなる前に私たちが一応の知識を持っていれば慌てなくて済むかなと考えております。道部ノミニーとうまく連携を保ちながら充分考えておりますので、よろしくお願いをしたいと思います。

道部 クラブリーダーシッププランというのは大変悩ましい問題でありまして、これからいろんな資料を見ていただくと判りますが、すべてクラブリーダーシッププランに向けた資料作りなんです。ですからやらざるを得ない。井上ガバナーエレクトとの連絡ですが、私も今月は4回、5回ほど甲府に来ておりまして、連絡は密に取りながらやっていきたいと思っております。クラブリーダーシッププランが最初に日本に上がってきたのは2004年の11月ですので、井上年度に入りましてこれを取り上げるという形になってきています。もちろん1年だけでは出来ませんが、これから公式訪問とか、いろんな場で井上ガバナーエレクトが各クラブにいきましてクラブリーダーシッププランを周知していただけたらと思います。そして、私としては9月ころに各クラブにアンケートを、まず知っているか知らないかから始めまして、それを見まして、まだおやりになっていないクラブは、むしろ、こちらから積極的に出て行って各クラブに説明申し上げ、実施をしていただけたらという要請する。

もちろん私が出かけていくのは、いっぱいであった場合物理的に無理ですから、このつぎガバナーエレクトになっていただく方に早めにご説明申し上げて各クラブに要請していただくという形でやって行って、私の年度には大体のクラブが運用していただけるようにしたいと思います。と申しますのは、やっている所とやっていない所が出来てしまうと、地区でどんな組織を作っているのかという問題があります。地区の組織を作る上で、非常に重要な問題になりますので、その辺をにらみながら進めていきたいと思っております。大雑把にはそんなふうを考えております。

井上 よろしいでしょうか。道部ノミニーがちょっとおっしゃいました地区の組織ですが、今年私の年度の変った組織が三つございます。先ほど地区目標のところでも申し上げましたITのシステム化というのがございますが、今年度またクラブ奉仕委員会に入っておりますITの推進委員会という小委員会をガバナー事務所の直結にさせていただきました。それをIT推進委員会とさせていただきます。もう一つは同じ委員会にありました広報雑誌委員会というのが独立をして、広報・ロータリー情報委員会という名前でほかの委員会と同列にさせていただきました。ロータリークラブの活動の中で一番重要なのはロータリー情報だと思っておりますから、そこへ設けさせていただいて、その委員会にはいま、真剣にクラブリーダーシッププランを考えていただいております。

もう一つは研修委員会でございます。この委員会は2人のパストガバナーで構成していただきます。ご存知かと思いますが、すべての委員会の委員長はパストガバナーではありません。しかし、パストガバナーが委員長をお勤めいただく委員会がこの研修委員会ともう一つロータリー財団委員会でございます。これはRIからの要望で決められております。この委員会につきましてはぜひ会長になるみなさんにはご認識をいただきたいと思っております。クラブリーダーシッププランについては私と道部ノミニーとで勉強をしまして、みなさまにわかりやすいように努力しますのでよろしくお願いをしたいと思います。

村松 藤枝クラブの村松です。いまのお話ですとクラブ細則を変えなければいけないということになりますけれど、そうしますと、例会で変えていいことになってはいますが、時期的にはいつがよろしいのでしょうか。

井上 それをかなり考慮されて、道部ノミニーはアンケートをお取りになったり、12月までにある程度方針をお立てになるというお考えだと思います。

道部 推奨ロータリークラブ細則というのが新しく出ておりますが、その中に5つのロータリーの常任委員会を設けなさいというのがあり、これに従って細則を採用していただくことになると思います。細則は各クラブ自由ですから、そこを変えていただくことになると思います。次年度の場合は2007年1月から計画して7月を迎えるわけですから、その間に細則をお決めになるようになるのではないかと考えております。

立川 山梨第2分区の立川でございますが、井上年度の時に新しい組織替えはやっていてもいいわけですね。その場合、新しくやっていく場合はPETSの時にいただいた細則の中の委員会がございませぬ、その中の委員会に各クラブともした方がいいんですか。そうするとその委員会に地区の指導組織からどなたか来て指導してくれるという格好で進めていっていいんですか。やっかいだから、いままで通りでもいいのかなあとという意見もクラブの中にあるんですよ。そうは言っても、PETSの話の聞いているわけですから、それでいいやとも言えないわけで。新しい形でやってみようかなと、そんな気持ちでいる、そんな格好でよろしいでしょうか。判らない時にはご指導いただけるわけですよ。

井上 私がお願いしたいのは、地区の委員長よりもクラブの、立川さんの場合は鯉沢青柳のクラブが自主性を持っていただく、それがまず第1ですよ。地区の委員会が、それについてお手伝いできる場所はします。

きょうの冊子の中に分區別の事業計画がありますね。各ガバナー補佐が大体4回くらいクラブを歩きますよね。その時にガバナー補佐に質問をする、意見を聞くということはいくらでも出来ますよ。そして、特別になにかする時にはその委員会にご連絡をいただく、それは各クラブの裁量です。

牧田 井上エレクト、道部ノミニーは実施の責任者ですからいろいろ大変だと思います。法律を改正する時に施行期日を決めて一斉に変われば、これは問題ない。けれども、ロータリーというのはそういう組織ではございませぬので、やはり井上さんのおっしゃるように、まずクラブでこの問題を取り上げていただいて、ロータリーも100年も経って制度疲労も来ていますから、新しい組織にしないと、機能しない部分もあるんで、ぜひ、リーダーシッププランはみんなでやろうと、全員でやりませぬと組織上問題が出てきますので、まずみんなでやろうと、きょうは会長あるいはガバナーノミニーで決意をいただいてですね、まだ2年度ございませぬので、その間にこのリーダーシッププランを完全に実施するという決意をまず決めていただいて、各クラブをガバナー補佐が回っておりますので、その懇談の時に細かい問題をおっしゃっていただいたら、ガバナー補佐はすぐにガバナー事務所に連絡を取ってご回答できるようになっておりますので、それを道部ノミニーのときに粛々と実施するというで充分いけるんじゃないでしょうか。本年度これからガバナー補佐、会長、まず決意を固めていただき、今年と来年とで粛々とこのプランを実施するというでどうでしょうか。

平野 静岡第7分区浜北ロータリークラブの平野と申します。PETSの時には会員数の少ないクラブがこれをやって、ほかのクラブはどうでもいいという風にお聞きしたので。これを来年あるいは再来年からやるんだということなら私どもも進めます。だが、その前に地区の組織図をまず変えて、地区の組織がこうなったから各クラブもこうしてくれと言った方が判りやすいと思います。

井上 地区の組織図は私は変えないつもりでおります。なぜかと言いますと、奉仕プロジェクト4つの中で、ひとつの奉仕プロジェクトを選ばれたとすると、地区にはすべての奉仕プロジェクトを持っていないと困りますよね。だから、いま地区の組織図を大まかに5つに分けることは無理だと思います。

クラブはこの5つ、やると決めて、全クラブがこの組織図のように進めてみる。出来るだけそうして欲しいんですが、過渡期ですからいろいろ問題があると思いますが、研究としてやっていただくのは必要だと思います。時間が10分になってしまいました。このあとの会員増強退会防止ということでお願いを申し上げます。第2620地区の会員数が3,696人くらいだと思います。過去を見ますと、2001年の7月から2002年の6月に208名減りました。2002年7月から2003年6月が157名減りました。そして、そのつぎの年82名という風に減る数が少なくなっていき、鈴木ガバナー年度はついに逆転をしてプラス61名です。景気動向と同じような感じで実際は会員数が増えております。私

どもがはじめから減る減ると考えなくて、各 84 クラブ 1 名はどうしても増やして欲しいと思います。

それから財団の寄付でございしますが、PETS でも申し上げましたが、1 日 100 円の貯金箱を作ってください。ガバナー補佐の中にもう実行している方がいらっしゃいます。クラブの会長の方で竹を切って貯金箱を作っていたりしている方もおります。財団のために 1 日 100 円の貯金箱を作っていたらいい。3,700 人が 100 円以上のご寄付をいただけるように率先していただきたい。

古屋 石和ロータリークラブの古屋と申します。PETS のときにいただきましたロータリアン必携にですね、マッチンググラントと地区補助金の説明がありました。予算の方は遡って補助金がないわけですが、今後もマッチンググラントはあるわけですが、いままで歴代の担当の方に聞きますと、地区のハードルが非常に高いと聞きまして、今後、積極的に進めていく不安がありますが、進めていく方法があるのか教えていただきたい。

井上 私の年度はぜひマッチンググラントを進めないでいただきたい。なぜかと言いますと DDF が私の年度から 50% になりました。なおかつ、DDF に金利が上乘せされるんですが、RI の資金運用ミスによって赤字が出た部分を補填しております。私どもの年度は 1 円の補助金もありません。それで財団奨学生を 7 人と地区補助金 4 万ドル取りますと、DDF がいっぱいになり、マッチンググラントに使えないとご理解いただきたい。これは毎年毎年変わりますので、私の年度のご寄付いただいたお金は 3 年後に返って参ります。3 年後のためにやっているとお理解いただきご協力願いたい。みなさまがた会長にクラブ目標報告書式という書類がいつていると思います。これは、日をお間違えにならないようにしてガバナー事務所にご返送いただきたい。国際ロータリーの会員増強推進計画の表彰という書類を PETS の時にお渡ししてあります。これが 4 月 15 日締め切りと書いてあります。そうしましたら、今年書類を使われて今年の会長名で出されたクラブがあります。今年の会長さんにお渡ししたのは来年の 4 月 15 日締め切りの用紙でございしますから、その辺をお間違えにならないようお願いをしたい。それから、効果的なロータリークラブの報告書というのがガバナー補佐の署名を貰って私どもの方へ集めるというのがありますので、よろしく願います。

これでガバナー補佐、会長部会は閉じさせていただきます。どうも長い間、ありがとうございました。

